

2021年6月14日

株 主 各 位

会 社 名 アイフル株式会社  
代 表 名 代表取締役社長 福田 光秀  
(コード番号：8515 東証第1部)  
問 合 せ 先 財務副本部長 安藤 俊明  
( T E L 03-4503-6050)

### インターネット開示事項の一部修正について

当社「第44回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」の記載事項の一部に修正すべき事項がございましたので、お詫び申し上げますとともに、本ウェブサイトをもって下記のとおり修正のご連絡をさせていただきます。(修正箇所には下線を付しております)

### 記

#### 【修正箇所】

1. 「第44回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」11ページ  
連結注記表 7. 金融商品に関する注記 (1)金融商品の状況に関する事項  
③金融商品に係るリスク管理体制

#### 修正前

ロ. 市場リスクの管理

(iv)市場リスクに係る定量的情報

当社グループは定量的分析を行っておりません。

(金利リスク)

当社グループにおいて、主要なリスク変数である金利の変動により時価が変動する主たる金融商品は、営業貸付金、割賦売掛金、借入金、社債であります。

なお、市場金利による時価算定科目において、連結会計年度末の市場金利が1ベース・ポイント(0.01%)変化した場合の当該金融資産と金融負債相殺後の純額(資産側)への想定影響額は、円金利が1ベース・ポイント(0.01%)上昇したものと想定した場合には、金利変動の影響を受ける金融商品の現在価値額は69百万円減少し、1ベース・ポイント(0.01%)下落したものと想定した場合は、69百万円増加するものと把握しております。ただし、影響額を試算するにあたっては、市場金利以外のリスク変数に変化がないことを前提としております。

#### 修正後

ロ. 市場リスクの管理

(iv)市場リスクに係る定量的情報

当社グループは定量的分析を行っておりません。

(金利リスク)

当社グループにおいて、主要なリスク変数である金利の変動により時価が変動する主たる金融商品は、営業貸付金、割賦売掛金、借入金、社債であります。

なお、市場金利による時価算定科目において、連結会計年度末の市場金利が1ベース・ポイント(0.01%)変化した場合の当該金融資産と金融負債相殺後の純額(資産側)への想定影響額は、円金利が1ベース・ポイント(0.01%)上昇したものと想定した場合には、金利変動の影響を受ける金融商品の現在価値額は71百万円減少し、1ベース・ポイント(0.01%)下落したものと想定した

場合は、71百万円増加するものと把握しております。ただし、影響額を試算するにあたっては、市場金利以外のリスク変数に変化がないことを前提としております。

2. 「第 44 回定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項」12 ページ  
 連結注記表 7. 金融商品に関する注記 (2) 金融商品の時価等に関する事項

修正前

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(略)			
(1) 短期借入金	100,750	100,750	—
(2) 社債	30,075	30,048	△27
(3) 長期借入金(*3)	326,814	329,445	2,631
負債計	457,639	460,243	2,604
(略)			

修正後

	連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
(略)			
(1) 短期借入金	100,750	100,750	—
(2) 社債	30,075	30,048	△27
(3) 長期借入金(*3)	326,814	<u>326,804</u>	<u>△10</u>
負債計	457,639	<u>457,602</u>	<u>△37</u>
(略)			

以上